

新年のご挨拶

～ネチズン国家の独立～

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

昨年は、書籍の発刊、よくばりメールのスタートをいたしました。

10月には朝日新聞の「会社行事が復活している」という記事の中で、当社の「お誕生会」の様子が大きな写真入りで紹介されました。

当社の「古き良き日本の会社を目指す」方針は、個を大切にしながら、みんなで頑張るといふ、個と全体を調和させようという時代の流れであるようで、他社でも社員旅行など復活しているそうです。

当社の使命

バーチャルとリアルな架け橋になる

新年にあたり、当社の使命は何かということを変更して確認し、その使命に向けて邁進していこうと決意を新たにしました。

当社の使命、それは「バーチャルとリアルな架け橋になる」ということです。

インターネットというバーチャルな世界で、当社はお客様に固定IP

を提供しています。

固定IPというのは、バーチャルな世界でのアドレスです。

他社が提供している固定でないアドレスは、その人の真のアドレスとは言えません。アパートのようなもので、借り物です。

それに対して、固定IPは、お客様だけに割り当てられた、アドレスなのです。

固定IPによって、はじめて、バーチャルなアドレスを獲得できると言えます。

当社は皆様に固定IPをお渡しすることで、バーチャルとリアルな架け橋をしていきます。

インターネットは旧体制を

まだ破壊していない

インターネットが旧体制を破壊した、と象徴的に言われます。

インターネット経由の売上が伸びて、リアル店舗の売上げが減ったことなどを、そのように言うのですが、私はそれについては否定的です。

その程度のことで旧体制の破壊と呼べないと思うのです。

私はもっとすごいことが起きるのではないかと、起きてほしい、それは社会を変革することになる、と考えています。

これから5年の大胆予想

ネチズン国家の独立

これから5年の大胆予想ということで、90%外れる予想を書かせていただきます。

それは、インターネット上の市民（＝ネチズン）が独立国家を作る！という予想です。

多くの銀行利用顧客がインターネット銀行に流れたように、ネチズン国籍に変更する人が増えていき、最終的に、国家は意味をなくし、戦争や領土問題もなくなってしまふ、という荒唐無稽な予想です。

ただ、これも単に冗談で済まなくなってきています。

[米国はインターネット上の仮想通貨に価値を認め、課税する](#)そうです。

課税にはその仮想通貨の流通場所は米国であると主張することであり、将来の独立を認めない口実に思えます。